講義名	現代世界史					授業形態	
担当教員	白幡　俊輔	開講期・曜日・時限	後期 木曜日 ３時限				
		単位数	2	履修開始年次	２年生	ナンバリング・コード	LBA221

主題と概要

主に20世紀から現在にいたる、世界全体の歴史について講義する。授業の前半6回では、現代社会の基礎となる社会制度や政治思想、「民主主義」「資本主義」「グローバリズム」「共産主義」などがどのような歴史的経緯をへて生まれたのかについて、19世紀以前にさかのぼって講義する。授業後半9回では、前半6回の内容を適時ふりかえりながら、20世紀におきた二つの世界大戦と東西冷戦について講義する。こうした講義を通じて、現代社会の成り立ちや、基本的な構造について理解する。

到達目標

１．20世紀以降の世界史の流れを理解する。
２．現代社会を構成する主要な経済・政治システムの成立過程を理解する。
３．現代史の知識にもとづき、未来の社会や世界の在り方について、構想していく力を身に着ける。

提出課題

講義ごとに「授業理解度と、その講義への質問・感想アンケート」をレスポンを通じて配布するので、必ず記入して提出すること。
同様に「事前学習」として、次回授業に関連する文献資料を読み、短いレポートを作成する課題を出すので、これも毎回提出すること（文献資料はこちらから配布する）。
※その他、必要に応じて「小レポート」「感想文」といった課題を課す場合がある。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

「事前学習」で予習してもらった内容については、授業で詳しく解説する。
「質問・感想アンケート」に記された疑問や質問などについては、時間の許す限り、次の授業で全て回答する。

評価の基準

平常点と、期末試験の得点で総合的に判定する。点数配分は平常点：15%（主に事前学習等の提出状況、質問票への記入状況）、定期試験：85%とする。（※無断欠席については減点の対象となるので注意すること）

履修にあたっての注意・助言他

世界史や政治経済について、予備知識なしでも構わない。基本的な歴史の流れや用語については、授業中に説明するので安心して受講して欲しい。歴史に関心がある人はもちろん、現代の経済や政治、現在世界で起こっている紛争や対立などについて関心のある学生の受講を歓迎する。（もし高校時代の世界史や政治経済の教科書を持っているなら、用意しておくとよい）

教科書

.使用しない.				

参考図書

.なし.				

その他

授業ごとにプリントを配布する。また参考になるような図書については、授業中に教えるので興味があれば読んでみて欲しい。

授業計画

1.ガイダンス、「現代社会を理解するために何を学ぶか」
予習：現代の国際政治や社会について、疑問に思っていることを書籍・新聞・ネットなどで調べ、まとめておく（授業中、アンケート機能での発表する）（120分）。　復習：授業の内容を振り返り、プリント等の入力漏れがないか確認する。授業用ノートを用意し、授業内容をまとめる。（120分）

2.民主主義の誕生①…啓蒙主義とフランス革命
予習：フランス革命に関する文献を読み、事前学習の課題に沿ってレポートを書く（180分）。復習：事前学習のレポートを読み直し、授業内容とともにノート等に整理する。（60分）

3.民主主義の誕生②…ナポレオン戦争と「革命の輸出」
予習：フランス革命政府と「恐怖政治」に関する文献を読み、事前学習の課題に沿ってレポートを書く（180分）。復習：事前学習のレポートを読み直し、授業内容とともにノート等に整理する。（60分）

4.砂糖と産業革命①…グローバル経済の成立
予習：大西洋三角貿易と産業革命に関する文献を読み、事前学習の課題に沿ってレポートを書く（180分）。復習：事前学習のレポートを読み直し、授業内容とともにノート等に整理する。（60分）

5.砂糖と産業革命②…資本主義の課題と共産主義の誕生
予習：産業革命期の民衆生活と、社会主義に関する文献を読み、事前学習の課題に沿ってレポートを書く（180分）。復習：事前学習のレポートを読み直し、授業内容とともにノート等に整理する。（60分）

6.第5回までのまとめ（19～20世紀初頭の世界情勢）
予習：第1回～第5回までの授業内容、自分の事前学習レポートを読み返し、内容を整理する（120分）。復習：第一次世界大戦直前の世界情勢について、指定された文献を読み、小レポートを作成する（120分）。

7.二つの世界大戦①…「だれも望まなかった戦争」第一次世界大戦
予習：第一次世界大戦直前のドイツに関する文献を読み、事前学習の課題に沿ってレポートを書く（180分）。復習：事前学習のレポートを読み直し、授業内容とともにノート等に整理する。（60分）

8.二つの世界大戦②…ロシア革命とナチス政権
予習：ロシア革命に関する文献を読み、事前学習の課題に沿ってレポートを書く（180分）。復習：事前学習のレポートを読み直し、授業内容とともにノート等に整理する。（60分）

9.二つの世界大戦③…第二次世界大戦の勃発
予習：ナチスドイツの国内・国外政策に関する文献を読み、事前学習の課題に沿ってレポートを書く（180分）。復習：事前学習のレポートを読み直し、授業内容とともにノート等に整理する。（60分）

10.二つの世界大戦④…第二次世界大戦の経緯と結末
予習：連合国の戦後処理に関する文献を読み、事前学習の課題に沿ってレポートを書く（180分）。復習：事前学習のレポートを読み直し、授業内容とともにノート等に整理する。（60分）

11.冷戦①…東西世界の分断
予習：連合国の占領政策に関する文献を読み、事前学習の課題に沿ってレポートを書く（180分）。復習：事前学習のレポートを読み直し、授業内容とともにノート等に整理する。（60分）

12.冷戦②…冷戦の中の「熱戦」
予習：ソ連のフルシチョフによる「スターリン批判」に関する文献を読み、事前学習の課題に沿ってレポートを書く（180分）。復習：事前学習のレポートを読み直し、授業内容とともにノート等に整理する。（60分）

13.冷戦③…緊張緩和から再び冷戦へ
予習：アメリカの東アジア政策・ベトナム戦争に関する文献を読み、事前学習の課題に沿ってレポートを書く（180分）。復習：事前学習のレポートを読み直し、授業内容とともにノート等に整理する。（60分）

14.冷戦④…冷戦の終結とソビエト連邦の崩壊（前）
予習：ソ連経済と「ペレストロイカ」に関する文献を読み、事前学習の課題に沿ってレポートを書く（180分）。復習：事前学習のレポートを読み直し、授業内容とともにノート等に整理する。（60分）

15.冷戦④…冷戦の終結とソビエト連邦の崩壊（後）
予習：共産主義諸国（東側陣営）の経済と政治に関する文献を読み、事前学習の課題に沿ってレポートを書く（180分）。復習：事前学習のレポートを読み直し、授業内容とともにノート等に整理する。（60分）

授業形態（アクティブ・ラーニング）

	ア：PBL（課題解決型学習）	○	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
	ウ：ディスカッション、ディベート		エ：グループワーク
	オ：プレゼンテーション		カ：実習、フィールドワーク
	キ：その他（ＡＬ型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）		

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

本授業は「現代に至る世界史の学習」「現代社会を構成する諸制度についての学習」を通じて、全学共通のディプロマ・ポリシーのうちとくに②の情報収集能力、情報分析能力、課題発見力、構想力の習得・向上を目指す。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

学生からの質問等に関しては常時受け付けているので、授業前、授業中、授業後のいつでも積極的に尋ねて欲しい。ICTの活用については特に予定していない。

実務経験の有無及び活用

備考